

御國自慢

伯刺西爾は天惠の豊かな國であるとは是まで本紙の屢々述べた處であるが、此の意味は私共が此の地に在留するから褒める云ふ様な感情的なものでなく、其處には確かな道理である。さういふ意味で、その事実があるからである。

◎農界資料
るを得ないのである。
尤も一口に伯國と云ふも、南米全土の三分の一を占むる世界有數の大國、場所と位置とに依り多温多雨の所もあれば、日照乾燥の所もある故に或る場所は綿花栽培に適するも小麦耕作に適せず、又或る場所は畜産に適せず、其の如きの如きに續ひて一穴に種子を三ヶ又は四ヶ播種するには普通三人を要する、老人、女、小供が適當で、一人は唐鍬を以て二十七ムより二十五センチームの深さ穴を掘り、一人は夫れに續ひて一穴に種子を三ヶ又は四ヶ

中には發芽せざるもの、地中に於て
根なるもの、發芽して天柄するものが
却多く多い。カンピーナス農事試験場
の實驗に徴するも埃及棉（ジユメル
種）を一メートルX八センチーム
の距離（一エクタールに付一萬二千
五百本）を以て播種せしにハリット
の要と云ふ、又レジンア
豫て募集中の慈善
三十一日なるも尙
得る丈け排水の方法
呈す、このときは小
ぬのである。（續く）
○寄

病院(サンタカーザ)寄附金募集締切り期限は来年
は地方よりの送金額々有之候に付き寄附者の行中
溝を穿ちて出来
を講せねばなら
工夫の燃し残した炊火にあたつて
るごプラットホームにゐる連中
事かをささやきながら僕の方を眺めてゐる、どうだアノ日本人は股

入つた、田舎を旅してゐる。聖州の都の空が懸しくなる以上に他州に入る。聖州が想はれる、一日も早くせめてサンパウロ州へだけでも入りたいといふ様な氣になる。

福川爲然君に案内されてペローパ耕地を祝つた、耕主恩凝つて曰くこの井戸は土也黄だ、也未リ天を重ねぬ

棉花栽培（續）

腐るもの、發芽して天板するものが得るだけ排水の方法を講ぜねばならぬのである。（續く）

燃し残した炊火にあたつてゐ
ラットボームにある連中が何
ささやきながら僕の方を眺め
どうだアノ日本人は股筋り
に入つた、田舎を旅してゐる聖州の空が懸しくなる以上に他州に入るこ聖州が想はれる、一日も早くせめてサンバウロ州へだけでも入り

猶如西雨時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno 10\$000
,, Semestre 5\$500
,, Mez 1\$000
,, Semana \$800

の如何を熟慮せねばならぬ、當國の
如き半熱帶地によく成長するは草綿
及び長纖維種である。

からで、栽培者は大に注意せねばならぬのである。第一回の根盛をなしてより一ヶ月を経たる時更に第二回の根盛をなし且つ雑草を根絶せしめる、この期間に於て順境に發育すれば棉は心地よき緑色の幼葉を着け健全なるを現はし三十センチーム

ヤスは山國未開の土地柄だけにブリ
ロが虎の皮を着てゐる。
アラグアリーの宿引きがロンカド
ールは非常に人氣の悪い處だと教わ
て呉れたので内心びく〳〵るもので乗
込込んで見たら、却つて居心地がよか
つた。

の如何を熟慮せねばならぬ、當國の如き半熱帶地によく成長するは草綿及び長纖維種である。

一エクタールの播種量は面積、栽培方法、畦の間隔、種子の大小、石灰又は石膏細末撒布程度如何に依りて決定すべきものなるが種類の如何に不係七リットル乃至十リットルが普通である、然し種子は成丈け餘計に見積り置くがよいのである、即ち中には發芽せざるもの、地中に於て腐るものの、發芽して夭折するものが却々多い。カンビーナズ農事試驗場の實験に徴するも埃及棉（ジユメル種）を一メートルX八十七センチームの距離（一エクタールに付一萬二千五百本）を以て播種せしに八リットルを要したりといふ、又ルイジアニア短纖維（綠色種子）一エクタールに付六リットルより七リットルを以て足れりと、種子の撰定に就ては前號に於て詳述せしが如くなるも、前年度の收穫に於て最も好良なる英を撰び置き夫れより種子を取りて蒔き付くるがよい、種子の善惡は獨り栽培上の便宜なるのみならず又植物期に於ても少なからざる労力を省くものである。

からで、栽培者は大に注意せねばならぬのである。第一回の根盛をなしてより一ヶ月を経た時更に第二回の根盛をなし且つ雑草を根絶しめる、この期間に於て順境に發育すれば棉は心地よき緑色の幼葉を着けて健全なる現はし三十センチーム乃至四十七センチームの高さに達するものである、然れども十二月に降雨過多なるときは棉は變色病の現象を呈す、このときは小溝を穿ちて出来得る丈け排水の方法を講せねばならぬのである。(續く)

第四十七席 劍刀齊岸柳十
兵衛公に負けた

居る内に或日雀へ旨くぶつり刺つた雀は身體へ釘を刺れて墜るものはない又釘を抜いて打附ける終には段々練磨して來て狙つて打つ釘は一本も外れない左右する内に十四五になると自分で向ふへ藁で木偶坊を拵らへて立たして置き大きな釘を買ひにやりこれを兩方の手に五本位づけ持つて打つ初めの内はやつと打てば五本ながら皆飛出して終ふ毎日やつて居る内に段々指のあがきで一本打たうと思へば二本出る三本打たうと思へば三本出る次第に練磨して來て大層此の手裏剣が上手になる、ここで自分も此の手裏剣の先生にならうと仕合が續いて兩親は亡くなり隣家から火事が始まつて我家は全焼となり遂に源太郎さくる人が脛を潰す程に手裏剣が上手になりました其内に不終ひ已むを得ず武士になつて諸國を修行しやうといふ氣になつたから差し駆けねい大小を差して自分は手裏剣を修行して歩き大阪を立つて七年後も間諸國を修行いたしまする内に不思議や此の源太郎の手裏剣をまともに妙を得て來たので生靈に道場を持つて名を毛利玄達と改めて手裏剣の先生になつたが何んな武藝者が來ても玄達の向ふへ廻るといふものがございませんの時に三十六本の手裏剣を打つ事に立尽つて生靈に道場を持つて名を毛利玄達と改めて手裏剣の先生になつたが何んな武藝者が來ても玄達の向ふへ行つて柳生十兵衛と一本合を打つた玄達はから岸柳何處へ行く心算は古今の早技だといふ先づ十兵衛を打込んだら日本に敵なし大和の正木屋左様はれから私は大和の正木屋

を叩き負ふうと思ふ。成程尊公の腕なら十兵衛を打込むだらう」と約束をして上見ぬ驚の劍刀齋岸柳大和國添上郡下正木坂の御陣屋へ來て柳生十兵衛公に立合を望みますと素浪人であるから岸柳直に十兵衛公へ願ふ譯には往かん家來森島半平に就いて劍刀齋立合を願ひたいと申し入れる十兵衛公へ聞きあつて「岸柳を面前へ通せ」劍刀齋御前へ出る。十兵衛公は右の目が不自由だ誠に武藝者は右の目が不自由だと見當が狂ふ左の一眼であるが古今の名人の十兵衛公「劍刀齋汝は我許へ何面あつて立合に參つた汝のやうな不實の奴は世界にあるべきものでない武藝者」の面汚しいふは汝だ汝は大恩受けたる師匠塙原ト傳へ已れの我が身體へ中らん眞劍で參れ」岸柳アツと赤面をして已れの不實を知る者はないと思ひしに十兵衛公に圖星被打たれ眞劍で來いごあらば望みにむいたる不將者諸人の見せしめに我任してやると心中に怒つて「岸眞剣にてた對手になります」岸柳も三界一の無敵流といふ流名を命けてある非凡な名人其の岸柳を對手に眞剣で來いとは御主人氣が狂ひはしないかと云ふ内十兵衛公は充分支度をなすつて「サア参れ俺は無手で澤山だ充分に來い」と身軽に扮裝つて「汝等能く我が足計へ心を注げて居れよ」と稽古場の真中に立上る岸柳も身支度をいたして波平行泰の大刀を引抜き上段に振かざして身構へる。十兵衛公は「岸柳參れ」と其儘にバラ／＼と稽古場より庭へ飛齊間近になりて一聲叫んで切下ぐる後飛に飛ぶ岸柳も中の狭い處だから庭の眞中に木で積上げてありますのが高さ三丈六尺駿河國有渡郡久能十兵衛公又逃げる逃げる十兵衛公を追詰め／＼岸柳が追込んで來る内に

山の形を築き上げ此瓢箪形の池が駿州の大海に象徴してあります正面に安政道と置し奉つるのが安國院殿徳蓮社崇譽道和大居士東照宮の神宮を飾つてある是れへ逃上りましたから此處へ岸柳が飛上るご大變だご家來は冷しが見てゐる内に大喝叫んで岸柳も飛堂上つて来るをヤツと云ふ聲諸共に劍刀齊の手許に飛込む早技目にも溜らず兩の手頸を取つて確かと動かさず一ト絞め絞めるご岸柳は左右の腕に仰しやる外の者なら着類の一枚位からモンドリ打せて池の中へ打込む其の腕前非凡なるに家來共膽を潰した土コレ岸柳を早く追拂はれど大の男子の岸柳を物の美事に高臺下し置かれるだらうが岸柳だに依り一枚の着類も下されず岸柳濡鼠の如くに相成り大和の正木坂を追拂はれどこの體で大阪へ逃げて來て毛利玄達に對面をいたしありし次第を語る玄達は孝子アガウも酷い目に遇聞たな俺が乗込んで行つて十兵衛を目に物見せてやう」

婦人欄

の生活難を嘗めしやうと努めて居るのであります。

【さうして其の方法の一として近頃は外國米を買入て、一般の人々に石臼で精米してから日本へ持つて来る途中で蒸れる爲めに外國米に一種の臭味のあるのは、或は出汁位ひ水に漬けておくか、或は出汁位ひ水に入れて炊けば良いさうであります。しかし其は實事であります、然かし其は爲めに、純日本米の如く粘り気がなく、脂肪分と蛋白質とが乏しいことは、少しく弱いに過ぎない。そして日本米よりも少し弱いに過ぎない。しかし其は實事でありますから、其の殆ど全部は岡崎である伯刺西爾で食べる私共が、少し炊方に注意するのであります。

【其れにまた脂肪分や蛋白質の不足は、田舎に有觸の野菜や豚肉や鶏肉類の副食物で補へば充分補ひ得るのと、私共が少し頭脳を使い、手を動かして置き、そして日本米よりも少し弱いに過ぎない。しかし其は實事でありますから、其の調理方に直接手を下す私共は、日常能く注意し、研究して萬物のあやまりのない様にしたいものであります。

日本人士地所有者名簿を
者は至急左記の事項を届
及最近停車場名
貢入地價
濟の上地券所有の有無
は其拂込の方法及契約の
濟金額